

日本における入試専門家の 現状と今後

林 篤裕

(名古屋工業大学 社会工学専攻
& アドミッションオフィス)
e-mail: hayashi.atsuhiko@nitech.ac.jp



資料掲載URL: stat.web.nitech.ac.jp/haifu/#Handai1802

1

もくじ

1. アドミッション・オフィスの現状
2. 担っている用務
3. 人材養成
4. まとめに代えて

2

1. アドミッション・オフィスの現状

歴史

- u 1997年(H9) 中央教育審議会第二次答申:
「[1] アドミッション・オフィスの整備」
- u 1999年(H11) 国立3大学にAC開設:
東北、筑波、九州。翌年には北海道にも
- u 2000年(H12) AO入試元年: 全国70余大学
- u 当初: AO入試の管理・運営部署として
- u 時代と共に:
IR、高等教育改革、中教審答申等々.....
====> 今後の役割は? 将来像は?
- u 私学では別の経緯、観点、役割も?

3

国立大の現状

- u 昨年度、今年度: 開設が盛ん。教員募集も頻繁。
 - u 「共通政策課題(入学者選抜改革分)」(2016年-2020年)
 - l 東大、京大、名大、名工大、九大、福島大、... 20以上
 - u 多面的・総合的評価を目的として <==== 中教審答申
- u 国立大学アドミッションセンター連絡会議: 29大学
 - u 北海道 小樽商科, 旭川医科, 東北 山形 福島 茨城 筑波 東京 電気通信 横浜国立 富山 福井 静岡 京都工芸繊維 鳥取 岡山 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高知 九州 佐賀 長崎 鹿児島 鹿屋体育 琉球 [2017年5月]
- u 四国地区国立大学連合アドミッションセンター(5大学)
- u いろいろな形態・運営方法:
 - u 教員主体、事務系主体、協働型、時限制(任期制)、.....
 - u 「入試」という特殊性・秘匿性、ミスが許されない、.....

4

アドミッション・オフィス関連の事業(1)

u 「大学教育再生加速プログラム」: 文部科学省、学振 (2014(H26)-2019(H31))

- u http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/ap/
- u <http://www.jsps.go.jp/j-ap/>

- H26
- u テーマⅠ アクティブ・ラーニング:(9)
 - u テーマⅡ 学修成果の可視化:(8)、Ⅰ & Ⅱ 複合型:(21)
 - u テーマⅢ 入試改革・高大接続(高等専門学校は対象外)
 - Ⅰ [入試改革] 大学入学者選抜を、意欲・能力・適性を多面的・総合的に評価・判定するものに転換するもの。:(3)お茶大、岡大、追手門学院大
 - Ⅱ [高大接続] 高等学校関係者と大学関係者との間で互いの教育目標や教育内容、方法について相互理解を図ること等により、高等学校教育と大学教育の連携を強力に進めるもの。:(5) 千葉大、東京農工大、愛媛大、三重県立看護大、杏林大

H27 u テーマⅣ 長期学外学修プログラム(ギャップイヤー):(12)

H28 u テーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化:(19) 5

アドミッション・オフィス関連の事業(2)

u 「大学入学者選抜改革推進委託事業」: 文部科学省 5グループ (2016(H28)-2018(H30))

- u http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1376470.htm
- u 本事業は、大学入学者選抜に関する専門的・実証的な研究能力を有する機関に委託して、以下に示す対象分野について、各大学における大学入学者選抜改革を進める上での具体的な課題や問題点を整理するとともに、特に「思考力・判断力・表現力」や「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する多面的・総合的な評価を行うための実践的で具体的な評価手法を構築し、その成果を全国の大学に普及することにより、各大学の入学者選抜改革を推進するものです。 **中教審答申実現に向けての評価方法の模索**

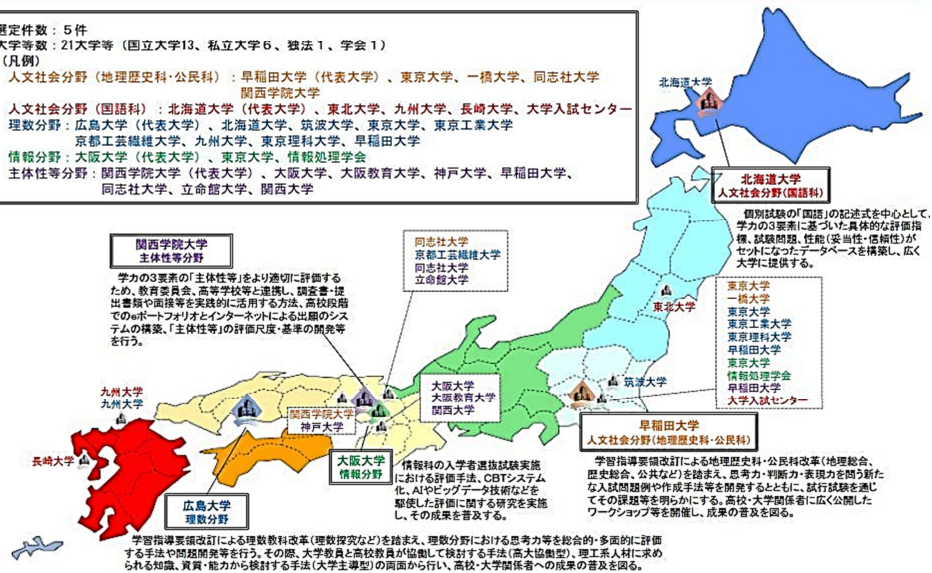
- u 人文社会分野(地理歴史科・公民科): 早稲田大学 他4大学
- u 人文社会分野(国語科): 北海道大学 他3大学、1団体
- u 理数分野: 広島大学 他8大学
- u 情報分野: 大阪大学 他1大学、1団体
- u 主体性等分野: 関西学院大学 他7大学

大学入学者選抜改革推進委託事業 選定機関

平成28年度予算額 3億円

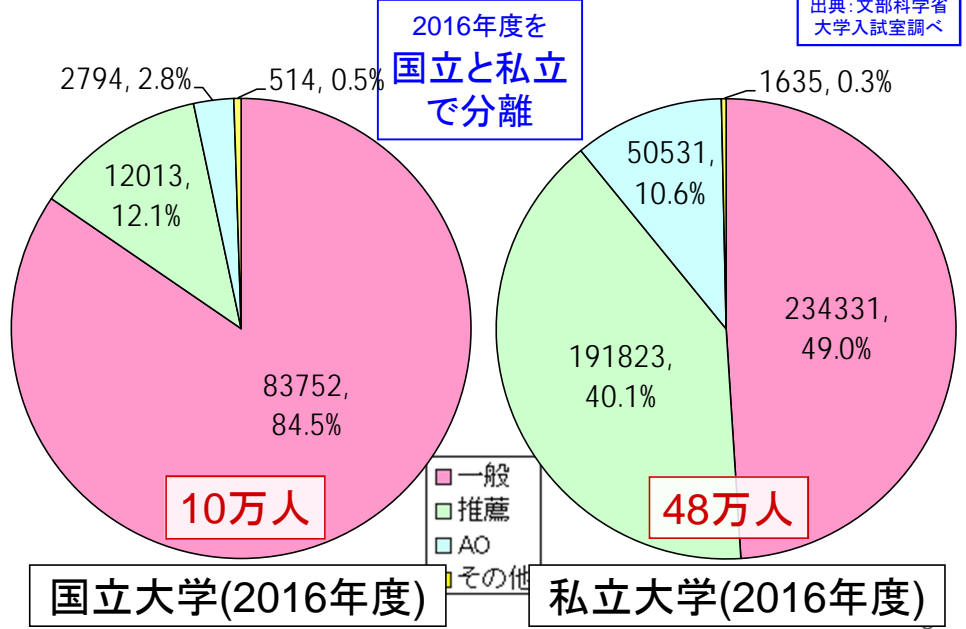
本事業では、各大学の入学者選抜において、「思考力・判断力・表現力」や「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価がより重視されることとなるよう、代表大学と参加大学等がコンソーシアムを組み、人文社会(地理歴史科・公民科、国語科)、理数、情報、面接・調査書等に関する評価手法の開発に取り組み、その成果を普及する。

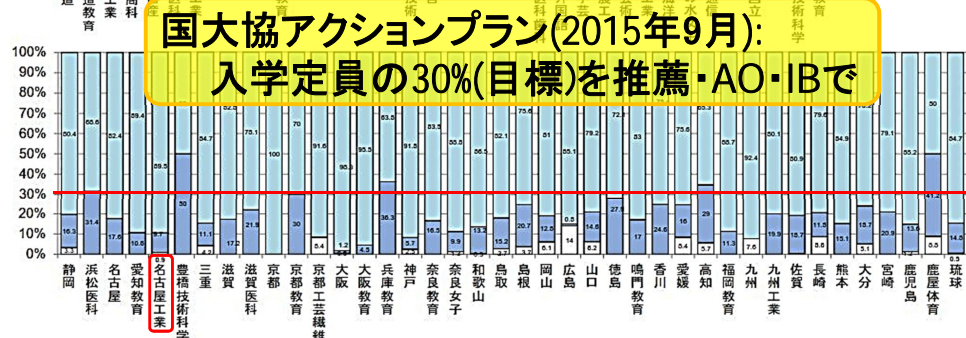
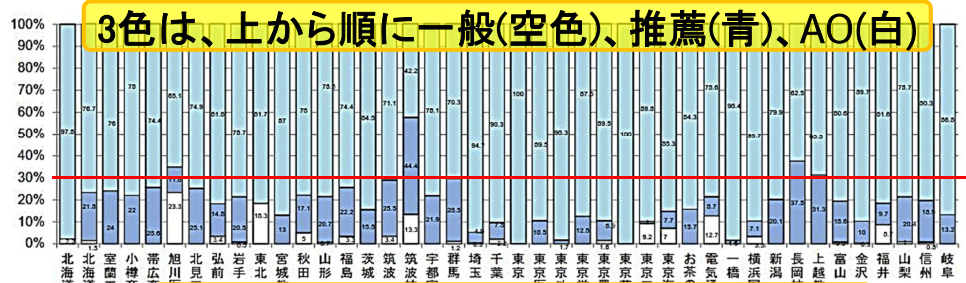
- 選定件数: 5件
 大学等数: 21大学等(国立大学13、私立大学6、独立1、学会1)
 (凡例)
 人文社会分野(地理歴史科・公民科): 早稲田大学(代表大学)、東京大学、一橋大学、同志社大学、関西学院大学
 人文社会分野(国語科): 北海道大学(代表大学)、東北大学、九州大学、長崎大学、大学入試センター
 理数分野: 広島大学(代表大学)、北海道大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、京都工芸繊維大学、九州大学、東京理科大学、早稲田大学
 情報分野: 大阪大学(代表大学)、東京大学、情報処理学会
 主体性等分野: 関西学院大学(代表大学)、大阪大学、大阪教育大学、神戸大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学、関西大学



選抜区分別入学者数の割合

出典: 文部科学省 大学入試室調べ





高大接続システム改革会議「最終報告」の公表について(平成28年3月31日)

2. 担っている用務(1)

- u 対学外: 高校生、高校教諭、保護者、PTA対象
 - u オープンキャンパス(OC)
 - u 広報活動
 - u 進学説明会: 大学間連携での実施、受験産業主導
 - u 高校での講演、説明
 - u 来学者への講演、説明
- u 講演の内容: 多岐にわたる
 - u 大学、学生生活、研究、就職状況、入試動向、.....
- u 訪問目的を明確に: 総合的学習の時間を有効に
 - u 焦点を絞る、ストーリー、プレゼンテーション方法、DVDの放映だけで良いのか?
- u (受験生の困り込みではなく。高等教育の面白さを。)

2. 担っている用務(2)

- u 対学内
 - u AO入試の管理・運営、支援
 - u 入試全般の助言、支援
 - u 入試分析: 選抜状況の把握
 - l 入学者選抜研究委員会(入選研)
 - l 本来は1979年(S54)から継続されているはずなのだが
 - u 追跡調査や学修動向の把握: IRにも通じる
 - u 将来の入試改革に備える: 未来への備え
 - l 入学者選抜改革の実現に向けた取組の支援
 - u 入試研究
- u 私学では異なった視点からの活動も?

入試研究の例

- u 作題者に対して統計情報を提供(評価資料)
 - u 平均、標準偏差
 - u 設問解答率分析図
 - u 得点分布
 - u 試験問題DB、教科書DB
 - u 各科目受験者群別平均点(連関表)
- u 入試の振る舞いの把握
 - u 合否入替り率
 - u 入試問題の改善、...
 - u 追跡調査
- u その他
 - u 得点調整
 - l 分位点差縮小法
 - l 等化
 - u 調査研究: 総合試験、高大連携、試験情報の整備、...
 - u 研究開発: 評価方法、...
 - u 調査・アンケート等

Admission Officerの活動領域

- u 研究領域
 - u 教育学、高等教育論、教育行政
 - u 統計学: 統計処理
 - l 参考書、処理経験が活かせる、統計検定の活用も
 - u その他、種々の分野
- u 活動の場
 - u 学内: 入学者選抜研究委員会(入選研) <== 解散も
 - u 学外: 全国大学入学者研究協議会(入研協、2006年(H18)-)。
元は国立大学入学者研究協議会(1979年(S54)-2005年(H17))。
 - u 日本テスト学会(2003年(H15)-): 大会/年

13

求められるスキル

- ◆ 「大学」の熟知
 - ◆ 自大学のみならず他大学も
 - ◆ 高等教育の在り方
 - ◆ 在るべき姿が語れるか
 - u 入試業務・仕組みの把握
 - u 入試動向・教育行政の把握
 - u (初等&)中等教育の把握
 - u 情報処理・統計処理技術
 - u データハンドリング、データ解析、報告
 - u プレゼンテーション能力?
- u 入試課との連携
 - u IR部門との連携
 - u 学内での発言力
 - u グループワーク
- 【私見】
- u 高大接続を担っているという気概
 - u 高校と大学の関係性
(単なる高校教員の支援ではなく)

14

[参考] 高校教員との交流・勉強会

- u 教育委員会によっては
進路指導教員を中心とした研究会あり
- 【私見】
u 「高校が元気にならないと大学は元気になれない」
- u 日本中等教育ネットワーク
 - u 鳥取、岡山、徳島の3名の高校教諭から(07年から)
 - u 県を越えての高校教諭の集まり: 132名(2017.8現在)
 - l 新潟(1), 大阪(2), 鳥取(18), 島根(13), 岡山(14), 広島(14), 山口(9), 徳島(16), 香川(11), 愛媛(10), 高知(17), 長崎(4), 鹿児島(3)
 - u 年に1回の勉強会。熱心な議論、意見交換。
 - l 今年は3月17日(土) 午後 @岡山
 - u 進路指導関係が多いが、それに限定されない。
- u 他にも、東京私立中学高等学校協会 研修会等5

3. 人材養成(1)

- u 入試業務・入試研究の特殊性
 - u 秘匿性・機密性が高い
 - u 興味を持つ教員も増えない
 - u 学問領域の認知度が低い
 - u 教育コースも極めて少ない
- ===> 継続的・組織的に養成する段階には至っていない
- u 入試専門家の育成を目的とした講習会
 - u 名古屋大学 高等教育研究センター
「アドミッション担当教職員支援セミナー」
 - u 大阪大学 高等教育・入試研究開発センター
「大阪大学HAO(Handai Admission Officer)育成プログラム」
 - u 九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター
「アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会」
 - u 大学入試センターも?

16

3. 人材養成(2)

- u 高大接続改革答申の実現に向けて
 - u 道具立てだけでなく、考え方についても浸透の必要性
 - l 選抜方法[道具立て]の整備・充実は勿論だが、高等教育として「望ましい入学者像」、「修学環境」を不断に思考・模索すること[考え方、哲学]が重要ではないか
 - u 教養部解体が惜まれる: 接合面で機能していたのに
 - u 入試専門家: まだまだ道半ば
 - u 担っている用務は多岐にわたる、多様
 - u 大学ごとに生き立ちや構成、目的等が異なる
 - u スキルは多方面にまたがる
- ===> まとめようがなくモヤモヤ

17

4. まとめて代えて(1)

- u 高大接続改革答申
 - u 新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について ~ すべての若者が夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせるために ~
- u 多面的・総合的入試 <=== グローバル化、少子化等に対応
 - u 『学力の3要素』を測る: 「知識・技能」のみならず「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」
- u [教育]制度は文化や歴史・経緯に根ざして開発・運用される: グローバル化とは対極
 - u 他国の良例がそのまま流用できるわけではない
 - u 日本に最適な方法を編み出す必要。知恵を出すとき。
 - u 学習指導要領が策定されている国の利点を活かして

18

4. まとめて代えて(2)

- u 【提案】高校関係者も参加する会合の開設
 - u 大学入試: 高校と大学の接合面に位置する
 - u 明るい将来に向けた意見交換の場
 - u 入研協を改変して実現する手があり得る?
 - u 日本版NACAC? (National Association for College Admission Counseling)
 - u アドミッション・オフィス
 - u 受験者を選考する部署として確立されるべき
 - u 求められている作業・スキルは多岐にわたる
 - u 支える「入試専門家」の養成が急務
- ===> 地道な活動がやがて「花開く」と信じて!!

19